

ジャパンサーチを活用した
デジタルアーキビスト教育

岐阜女子大学 林 知代

デジタルアーキビストに求められる情報処理能力

2006年 特定非営利活動法人日本デジタルアーキビスト認定機構 よって
デジタルアーキビスト資格の認定が始められた頃は、
デジタル化の技術習得に力を入れていた。



- 現在では、誰もが所有するスマートフォンで高画質な静止画や動画の撮影や編集が行える。
- インターネット上に、良質なデジタルアーカイブが公開されている。

大学生として、日常的にデジタルアーカイブを活用する活用者となり、
学修活動や創作活動でデジタルアーカイブを活用できるようになることを
目指すべき

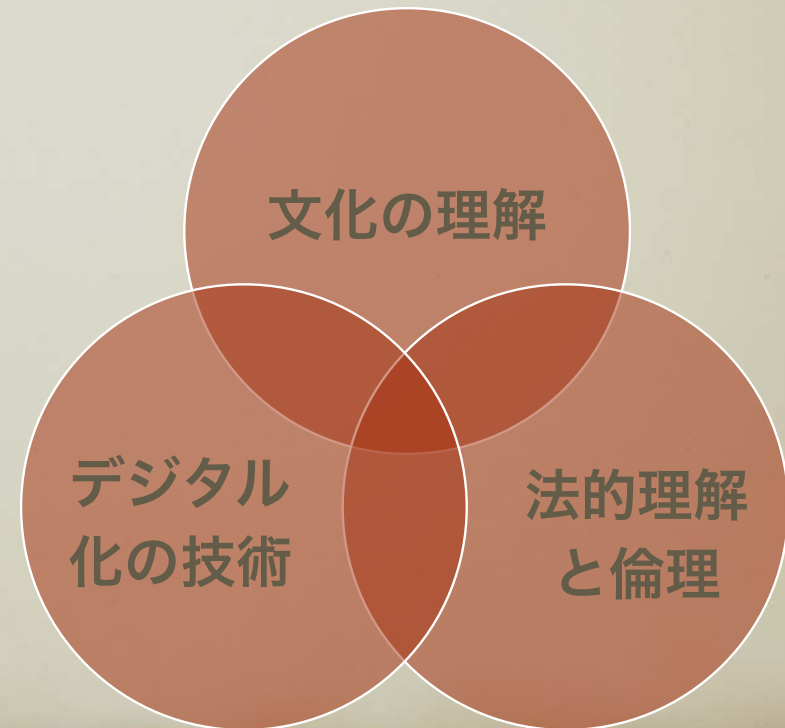
デジタルアーキビスト教育

NPO法人日本デジタルアーキビスト資格認定機構

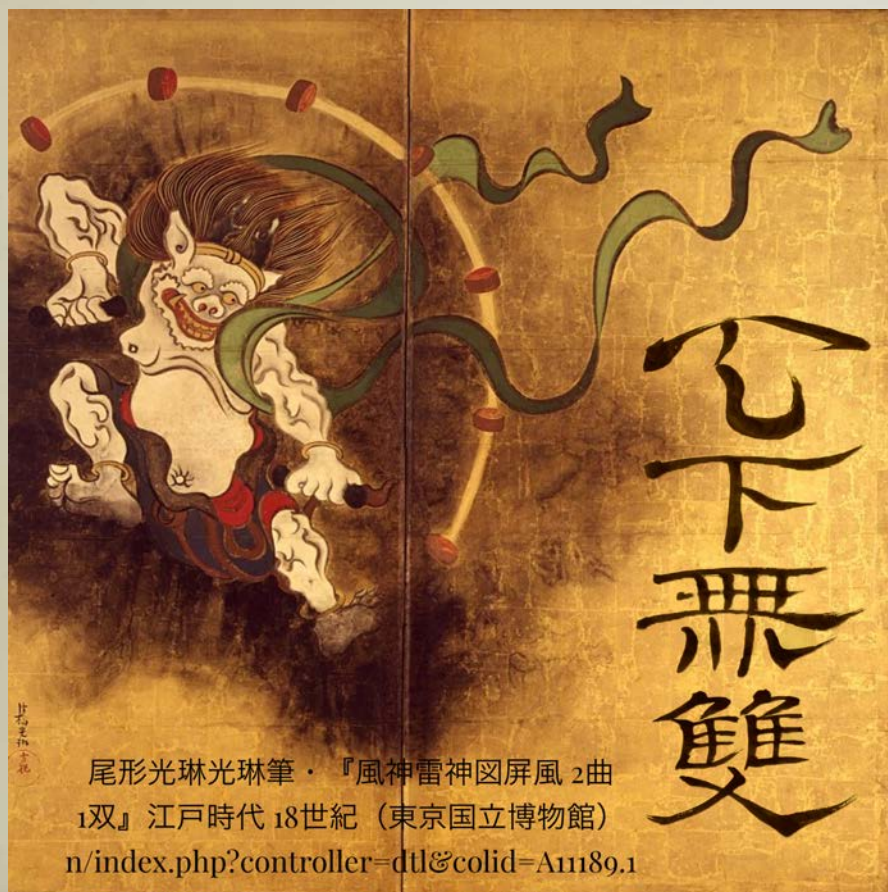
➤ デジタルアーカイブの理論と実践
2023 樹村房

- 1章 デジタルアーカイブとは
- 2章 多様なデジタルアーカイブ
- 3章 運営・管理
- 4章 法と倫理
- 5章 デジタル化
- 6章 公開・利活用

デジタルアーキビストに
求められる3つの能力



讚を書く



文化財の静止画デジタルアーカイブの活用実践

文化財の静止画のデジタルアーカイブの活用

絵画に褒め称える言葉を加える画讃

- 1 ほめたたえる。「讃歌・讃美／称讃・絶讃」
- 2 ほめたたえる文。また、絵に添える詩文。「画讃」
- 3 仏徳をたたえる言葉。「梵讃ぼんさん・和讃」

作業手順

① 絵画や日本画のデジタルアーカイブから静止画をダウンロード

！高解像度の画像を探すこと。フルHD / 2K 1920×1080画素以上が望ましい

！クリエイティブコモンズライセンス

CC0・PDM（パブリックドメイン）もしくは、CCBY（クレジットをつける）を使用すること。

ジャパンサーチ・ColBase:国立文化財機構所蔵品統合検索システム・国立国会図書館デジタルコレクション 等

② その画像にあった書を書き、書いた書をスマホで撮影

③ 絵のデータと合成してコラージュ作品を制作する

Adobe Photoshop・スマートフォンアプリ Adobe Express

ジャパンサーチで探す



- 収録元データベースで開くをクリック
データは収録元のWEBサイトからダウンロードできる

- CC BY (表示) をクリックすると
- 出典の記載例がある

どうやったらこの資料の画像を使えるの？
クレジット表記をすれば利用可

CC BY (表示)

教育 非商用 商用

原作者のクレジット (氏名、作品タイトルなど) を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可されるライセンス。

資料固有の条件
<https://colbase.nich.go.jp/pages/term>

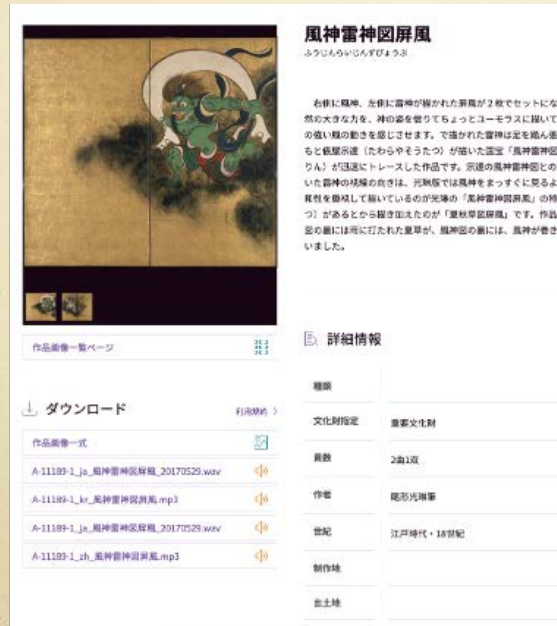
出典の記載例
尾形光琳筆『風神雷神図屏風』(東京国立博物館所蔵)
「ColBase」収録
(<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-166393>)

記載例をコピー

ダウンロード

ColBase:国立文化財機構所蔵品統合検索システム

ダウンロードの
作品画像一式をクリックすると
画像がダウンロードできる



風神雷神図屏風
ふうじんらいじんずびょうぶ

右側に風神、左側に雷神が描かれた屏風が2枚でセットになっ
た大きな力作。神の姿を借りてちよっとユーモラスに描いてい
る面白い動きを感じさせます。描かれた雷神は安を掴み落と
ると伝説の雷 [たからやそうたつ] が描いた雷雲「風神雷神図屏
風」が返還にトレースした作品です。宗達の風神雷神図との違
いた雷神の持物の意味は、宗達版では雷神をまつくに怒るよう
異物を雷柱として描いているのが宗達の「風神雷神図屏風」の特長
つ) があることから疑き直されたが「風神雷神図屏風」の複製
品の裏には両に打られた墨印が、風神図の裏には、雷神が書き起
きました。

ダウンロード 印刷済

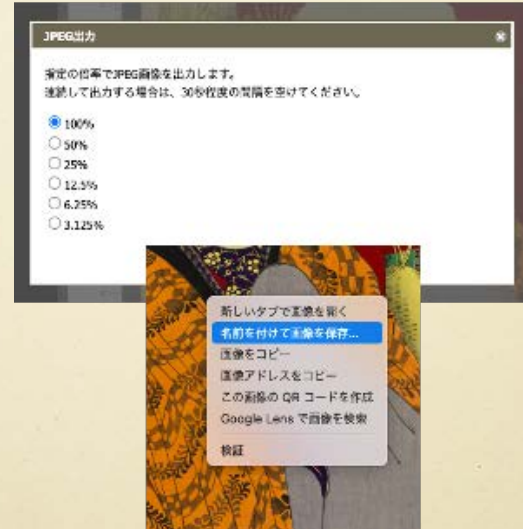
作品画像一式

A-11189-1_ja_風神雷神図屏風_20170529.wav	🔊
A-11189-1_kv_風神雷神図屏風.mp3	🔊
A-11189-1_ja_風神雷神図屏風_20170529.wav	🔊
A-11189-1_kv_風神雷神図屏風.mp3	🔊

詳細情報

種別	
文化財指定	重要文化財
員数	2面1双
作者	尾形光琳筆
世紀	江戸時代・18世紀
制作地	
産土地	

国立国会図書館デジタルコレクション



JPEG出力

指定の比率でJPEG画像を出力します。
連続して出力する場合は、30秒程度の間隔を空けてください。

- 100%
- 50%
- 25%
- 12.5%
- 6.25%
- 3.125%

新しいタブで画像を開く
名前を付けて画像を保存...
画像をコピー
画像アドレスをコピー
この画像の QR コードを作成
Google Lens で画像を検索
検証

- JPEG表示を行い
- 出力を100%に設定
- 表示された画像を右クリックし、
- 画像を保存する。

画像の出典の表記

作者・作品名・所蔵場所・公開URLのQRコードを作品の中に入れる



考察 文化財の静止画デジタルアーカイブの活用実践

- デジタルアーカイブの画像を利用する場合はどのように出典表記をするのかがこの実践によって学ぶ機会とすることができた。
- 書道作品の合成を課題としたが、日常的に学生が使っている写真加工のアプリを使って加工させたほうが、もっとおもしろい創作作品が提出されたかも。
- データのダウンロードのデータサイズや方式が機関によって違ったので、IIIFのように標準的な仕組みがあるともっと活用しやすくなるのではないか。
- デジタルアーカイブの活用の機会を進めるには、身近なツールでのアクセシビリティを高め、自然に利用する機会を増やしていくかが重要

ジャパンサーチギャラリー制作のデジタルアーキビストの学習モデル

カリキュラム	学習内容と課題	デジタルアーキビストとしての学び
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">テキスト学習</p> <p>横断検索</p> <p>マイノートの作成</p> <p>ギャラリーの閲覧</p> <p>ワークスペースの制作</p> <p>発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ジャパンサーチの概要理解 ■ データ横断検索方法の理解 ■ ギャラリー機能の概要理解 ■ 収集データの概要把握 ■ 横断検索のための文化調査 ■ テーマの決定 ■ ワークスペース制作機能の理解 ■ 構成を考える ■ 資料の選定 ■ 記事の作成 (テキスト入力) ■ 資料の選定と挿入 (画像・権利区分・説明) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多彩なデジタルアーカイブの閲覧 ・ 多彩なメタデータの閲覧 ・ 検索におけるメタデータの重要性の理解 ・ 多彩な一次情報の閲覧 ・ 権利区分 (クリエイティブコモンズ等) の理解 ・ IIIF (マニフェストファイルの取り扱い) の理解 ・ デジタルアーカイブの活用へのチャレンジ
	<p>デジタルアーカイブとは何かを知る機会</p>	
	<p>日本文化に触れる機会</p>	
	<p>デジタル化の技術への理解の向上</p>	
	<p>権利処理への理解の向上</p>	
<p>デジタルアーカイブの活用実践の機会</p>		

学生の感想

♪ ジャパンサーチのワークスペース機能を使った制作への感想

- 自分の好きなように集めた情報をまとめたりすることができるので、学習などにも使えるなと思った。
- 見方や検索の仕方が慣れず混乱することもあったが、使い方が分かれば色々な検索方法があって楽しかった。
- 自分の興味のある分野や好きなテーマに対して、関連する作品を集め、マイギャラリーを制作していくことが楽しかったです。

♪ デジタルアーカイブの活用にはどんな知識が必要だと思ったか

♪ デジタルアーカイブの対象物への知識が重要だという意見が多くみられた。

- 自分が調べたい事柄の時代の関連性、歴史の知識も必要だと感じました。
- 自分が探したいものや知りたいことを見つけるための知識と答えを見つける力、見ている資料への理解やその資料について自分なりにでも価値を見出せるくらいの知識や力が必要なことだと思いました。

♪ デジタルアーカイブには情報の正確性が重要だとわかったという意見もあった。

- 作品に対する深い理解が必要だと感じた。デジタルアーカイブを閲覧する人は、そこに書かれた情報が真実だと思っている。間違った情報を掲載するとその後の利用を妨げることにもつながると思った。

考察 ジャパンサーチの活用実践

- ❧ デジタルアーカイブの対象物への知識が重要だという意見が多くみられ、文化財への造詣がまだまだ未熟である学生がゼロからテーマを決めてギャラリーを作成するのは大変であったが、既存のギャラリーを参考にすることで作成する事ができていた。
- ❧ 今回利用させていただいたギャラリー機能のような活用ツールの提供や、活用例を提示が、デジタルアーカイブの活用を促進する鍵となると考察する。

最後に

- ⇒ 世の二次創作が一次創作への深い愛着から産まれているように、デジタルアーカイブを活用した創作活動にも一次資料への造詣が必要となる。
創作活動で活用されるデジタルアーカイブであるためには、一次資料の魅力が伝わるデジタルアーカイブであることも重要であることを改めて理解する機会となった。
- ⇒ 実際に活用しづらいと感じたり、創作が進まないと感じた時が、
 - ⇒ なぜ活用しづらいのか
 - ⇒ どういうデジタルアーカイブが活用しやすいのか
 - ⇒ デジタルアーキビストとして活用しやすいデジタルアーカイブとはどのようなデジタルアーカイブかを考える機会になる。